

西吾妻山(2035m):悪路に苦戦、雪の季節に登るべし!

齊藤 整紀

●2018年7月1日(日) 晴れ、のち一時雨

●メンバー 村山隆(CL)、齊藤整紀

●コースタイム

16日(土)曇り/雨

葛西(車)4:00⇒デコ平口P 8:15→西大巔 11:20~30
→西吾妻山 13:00~15→吾妻神社 13:35→西吾妻小屋
(昼食) 13:55~14:15→西大巔 15:15→17:35 デコ平
口(車) 17:50(車)⇒裏磐梯温泉センター(入浴)
(車) 19:00⇒0:00 葛西

関東は早々6月中梅雨明けで晴天が続く、急に西吾妻山行が決まった。この時期畑も忙しく寝る暇もないが、早朝4時発に合わせた。東北道の遠方に浮かぶ男体山等の展望を楽しむ。福島に入り、磐梯山を右に見て、スキー場へ向かう。グランデコホテル手前から山道に入る。対向車に出会っても交わせないような狭い悪路である。15分ほどでデコ平口駐車場へ到着。車30台程分のスペースでまだ余裕。まずお花畑の湿原を抜け、リフト山頂駅からスキーのグレンデをジグザグに上る。展望が良く、真ん前の磐梯山が素晴らしい。手前に断崖を抱き、ピラミダルな山頂が目を引く。



まず目指す西大巔が大きく立ちのぼる。グレンデ上部で、右側の川を超え樹林帯へ入る。荒れた沢沿いの上りである。斜度はそれほどでもないが、石と木の根と濡れた土で、とにかく歩きにくい径である。自ずと時間が掛る。ブナなどの樹林帯は湿って、涼しいというより蒸し暑い。やがて低灌木帯になると、今度は日差しが強くなり暑い! 昭文社の地図で、2時間5分の西大巔までが

3時間余りかかった。西大巔は展望が良好で、磐梯山の他、西吾妻、東吾妻、安達太良など東の峰々が美しい。目指す西吾妻は東吾妻連峰のような岩肌ではなく、柔らかな草木で覆われた平凡にして特徴のない山である。西大巔と西吾妻山を結ぶ尾根?はまた想定外。急坂で、浮石がごろごろして、とても歩きにくい。しかしお花畑は見事で、写真が忙しい。チングルマは盛りが過ぎ、コバイケイソウが美しい。石楠花もなかなか! 更に、樹林帯を抜け、一面の湿原を木道で渡る。そこから望む山頂部を目指す。



背の低い樹林帯の径の真ん中に8畳くらいのスペースの端に、山頂標識が立つ。質素な木製。これほどシンプルな標識で、展望のない狭苦しい山頂標識地の百名山は珍しい。

吾妻神社へ回ってから小屋で遅い昼食を摂って、下山についた。この山は距離は大したことはないが、悪路で時間が掛る。他の登山客が、「東吾妻は、車で近くまで行かれて径も良いが、西吾妻は比べ物にならない」と話していたことが頷ける。雪のある時期推薦の意味が分かった。下山で西大巔を過ぎると雨になり、一層、虫が暗躍! 私は、前回鏝の柔らかい帽子で耳をやられたため、今回は鏝の堅い帽子を使ったため、ネットが効いた! 34,000歩の割には、足も攣り、疲れた。

帰りはスキー場のホテルの温泉が終わっていたため、裏磐梯温泉センターで入浴して帰宅。やはり葛西着深夜であった。百名山97座目も村山氏のお世話になった。(了)